

# 東部海浜開発事業検討会議 報告VOL. 5

※検討会議は公開で、どなたでも傍聴が可能です。

## 東部海浜開発事業検討会議の目的

東部海浜開発事業について、客観的かつ多角的な視点から精査すると共に、公平公正な観点から情報を公開するため、東部海浜開発事業検討会議を設置する。

(東部海浜開発事業検討会議設置要綱より)

## 第5回 東部海浜開発事業検討会議 式次第

日時 平成19年3月17日(土)

内容 現地視察

### (1) 日程

|             | 集合場所            | 内容                     |
|-------------|-----------------|------------------------|
| 9:50        | 沖縄市役所           | 集合                     |
| 10:30~11:40 | 沖縄市<br>ITワークプラザ | ①泡瀬干潟視察<br>(クレミトロ等)    |
| 11:50~12:10 | 仮設橋梁            | ②仮設橋梁現場視察、<br>トカゲハゼ生息地 |
| 13:00~13:20 | 県総合運動<br>公園     | ③比屋根湿地視察               |
| 13:30~17:00 | 中城湾港<br>出張所     | ④海上工事現場視察              |
| 17:00~17:30 | 沖縄市役所           | バス移動・解散                |

## 検討会議委員

(五十音順・敬称略)

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 伊良部 光宏 | 市民委員                   |
| 岩田 健吉  | 市民委員                   |
| 大田 至   | 市民委員                   |
| 島田 勝也  | NTT西日本-沖縄 (副座長)        |
| 高江州 昌和 | おきなわ証券株式会社<br>代表取締役    |
| 當山 真由美 | 株都市科学政策研究所             |
| 比嘉 徹   | 株レイメイコンピュータ<br>代表取締役   |
| 藤田 喜久  | NPO法人 海の自然史研究所<br>代表理事 |
| 宮平 栄治  | 名桜大学国際学部 教授 (座長)       |
| 藁科 邦利  | 市民委員                   |

※委員は、公募により選任された市民委員と、学識経験を持つ専門委員で構成します。

## 委員紹介 パート3

### 大田 至

沖縄市在住。職業は、クリーニング店主。沖縄市ピース通り会会長。趣味は釣り・キャンプ。家族は7人。子ども4人の父親。子どもは高校生2人、中学生、小学生と全員市内の学校に通う。

### 高江洲 昌和

1982年沖縄証券入社。コザ支店副支店長、法人部次長、コザ支店長を歴任し、2002年11月代表取締役社長に就任、2003年10月大宝証券との統合後おきなわ証券代表取締役社長に就任現在に至る。琉球大学法文学部経済学科卒業。趣味は三線。沖縄市在住。

沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課(市役所6階) tel 098-939-1212(代表) fax 098-939-6313  
<http://www.city.okinawa.okinawa.jp> メインページ→各課案内→計画調整課

※会議の配布資料は事務局へ請求していただければ配布いたします。  
沖縄市ホームページにも掲載していますので、そちらもご利用ください。

## 現地視察

今回の会議は、会議室を飛び出して泡瀬干潟とその周辺の環境、埋め立て工事現場の視察を行いました。

視察の目的は大きく2つ、「泡瀬干潟の価値を理解すること」、「これから何が作られようとしているのかを知ること」です。

その為に、泡瀬干潟、比屋根湿地、仮設橋梁、海上工事現場を、一日がかりで視察して回りました。

当日はあいにくの曇り空で少し肌寒かったのですが、干潟では水に入って生き物に触れ、海上工事現場へは波しぶきを浴びながら片道40分かけて船で渡り、精力的に視察を行いました。



各委員、気合を入れて干潟へ！



波しぶきを浴びながら工事現場へ！



3月17日の視察ルート

### ①泡瀬干潟

泡瀬干潟では、海洋生物の研究者で甲殻類学が専門の藤田委員の案内により、波打ち際→転石帯→藻場→砂州の順に泡瀬干潟を見ていきました。

干潟の浄化機能、ここに住む生き物や環境の多様性等の多くのことを学びました。



ITワークプラザ向かいの階段から、人工島へのアクセス道路に沿って歩いていきました。

#### ここでの視察のポイント

- ・汚染の少ない地域とひどい地域の比較
- ・泡瀬干潟の水質や底質の観察
- ・埋立てられる干潟の面積を実感
- ・人工島へのアクセス道路の位置

#### 干潟の生物

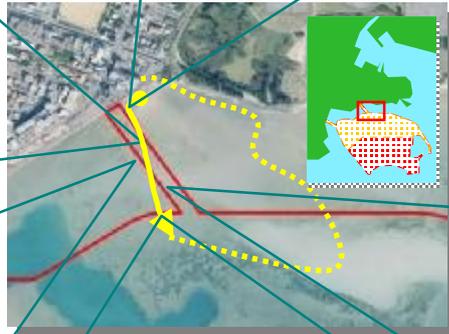
干潟を歩いていると、さまざまな小さな生物たちに出会うことができました。干潟とはこれらの生物達が絶妙なバランスで支えあっている環境なのだという事を学びました。



陸域近くの砂は真っ黒！



少し沖へ出るときれいに。



#### 人工島の広さ

人工島の縁となる予定の場所に立ち、工事現場を眺めます。ここから工事現場までが人工島の予定地です。



ちいさなちいさなミニミコメツキガニ

不思議物体、砂茶碗

ハウシユノタマガイ



(出典：中城湾港泡瀬地区生物ハンドブック)

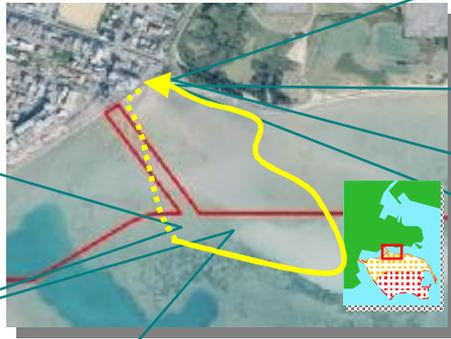
干潟の不思議物体。実はこれ、タマガイの卵。

### ここでの視察のポイント

- ・クビレミドロ、浅海域の海草・藻類の観察
- ・不法投棄された大小のゴミ



絶滅危惧種のクビレミドロ



### 干潟を脅かす脅威

なお垂れ流され続けている生活排水は、干潟の浄化作用を凌駕する脅威です。



### 干潟の多様性

干潟はさまざまな環境の複合体です。小さな石(礫)の多い場所や、どろどろの砂地、大きな石が転がっている場所、藻が生い茂る場所などが存在し、水の流れやわずかな高低差などで全く違う顔を見せてくれます。こういった多様性が、さまざまな生き物のすみ分けを可能にしているのです。

### 藻場

密生した藻類は小さな生き物たちの絶好の隠れ場所となり、また豊富なエサを提供してくれます。ここに生息する魚たちの中には、成長して海へ出て行き、産卵で再びここに戻ってくるものもいます。生命のゆりかご、それが干潟の藻場なのです。

## ② 仮設橋梁

建設中の仮設橋梁へ立ち入り、沖縄総合事務局の方より進捗状況の説明を受けました。環境と安全に最大限の配慮を行っているという説明の通り、非常に整理されキレイな現場でした。

現場視察の後、トカゲハゼ生息地である橋梁脇の泥場も視察しました。

### ここでの視察のポイント

- ・人工島へのアクセス道路の位置
- ・事業の進捗状況
- ・事業実施区域の位置・形状の確認



総合事務局による状況の説明



浅海域の汚濁防止用の土嚢



ゴミ一つ無い現場



トカゲハゼ生息地

## ③ 比屋根湿地

県港湾課の方より、年々陸地化していく現状や、湿地の浄化機能、多くの生き物の生息地となっていること、また、その様々な役割を保つために整備の必要性があること等の説明を受けました。

双眼鏡で覗くと、コサギやセイタカシギなどの野鳥の様子も見る事ができました。

### ここでの視察のポイント

- ・周辺陸地の状況
- ・陸地化の状況



たくさんの野鳥が確認できる



比屋根湿地の陸地化状況の確認



比屋根湿地浄化施設イメージ(平常時イメージ)

比屋根湿地・泡瀬地区海岸整備専門部会 資料より

## ④海上工事現場

船で海上工事現場へ向かう前に、中城湾港出張所で工事の進捗状況と視察場所の説明を受けました。現在、余水吐(よすいばき)護岸が完成していて、囲われた面積は約9ha。人工島の面積は約187haですから、約5%の広さを見ることになります。

船に乗り込む前に石材洗浄の状況も確認することができました。強力なシャワーで90秒間の洗浄を義務付けているとのことでした。

出張所から小型の漁船で片道約40分、時折波しぶきを浴びながら海上工事現場へ向かいました。

到着した現場は、仮設橋梁と同様大変きれいで整然としています。今年度の工事がまもなく終了することもあり、整地や片付けなどのみ行われていました。



視察場所の説明



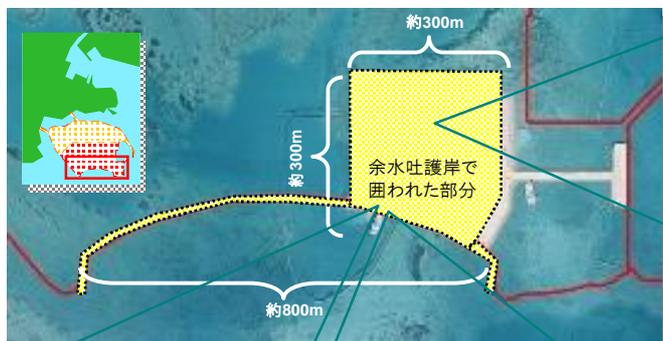
石材洗浄の様子



小型の漁船で現場へ

### ここでの視察のポイント

- ・事業の進捗状況
- ・事業実施区域の位置・形状の確認
- ・ホテル・ビーチ予定地からの景観
- ・工事における環境への配慮状況の確認  
(騒音、汚濁防止膜、石材洗浄など)



### 事業の進捗状況

現在の進捗を確認しました。これは埋立面積の約5%です。埋め立て面積が実感できました。



### 人工ビーチ予定地の水質

人工ビーチ予定地の水の透明度は高く、ルリスズメダイやオヤビッチャを見ることができました。

### ホテル・ビーチ予定地からの景観

人工ビーチ予定地から望む景観は海が広がります。

第6回検討会議は

**4月14日(土) 13時30分～ 沖縄市福祉文化プラザ 交流ホールにて** 開催します。

(高原7丁目35番1号 tel930-1692)

議題は

1. 現地視察を終えて
2. 今後の流れ
3. 市民等の意見の聴取について
4. 「人工島事業理解のために」の疑問について 等です

議題名は予定です。当日までに変更する可能性もあることをご了承ください。

※検討会議はどなたでも傍聴が可能です。詳しくは 沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課までお問い合わせ下さい。